

L'aile d'Howl



【ライル・ドウル：ホウルの翼(仏語)】

February 2015

大崎カップは矢巾勢の勝利に終わる！ガンバレ花巻勢☆



去る1月31日～2月1日に、紫波町総合体育館、矢巾総合体育館等を会場として、第20回岩手県中学校大崎カップが開催されました。今年度最後の県内大会ということもあり、中学生ハンドボーラーは来年度へ向けての良いステップとすべく、会場狭しと集まった観客を沸かせるはつらつとしたプレーを展開しました。

男子の部では、県新人戦で優勝を飾った矢巾中が順当に勝ち進みました。また、盛岡勢では、剛腕エースの大西亮太選手を擁する見前中や黒石野中などが勝ち上がりました。県新人戦で準優勝だった花巻中は、初戦で城西中に辛勝するも、以前見られたような思い切りの良さが影をひそめ、準々決勝で大宮中に敗退し、矢巾中へのリベンジを果たすことができませんでした。来年度の中総体では、再度決勝の舞台に立てるよう努力してほしいと思います。

女子の部では、地元・矢巾北中が他を圧倒する強さで上位に駒を進め、また、松園中や厨川中がそれに続きました。花巻北中は、大宮中との初戦、非常にロースコアな展開となり、なんと前半終わって2-2。後半に入っても得点は伸びず、なんと6-6の同点のまま延長戦に突入。しかし、延長戦でも決着はつかず、7-7という過去に例を見ない得点で7MTCへ。ここで千葉夏希GKがセーブするも味方のシュートが決まらず、惜しくも初戦敗退という結果になってしまいました。涙にくれるメンバーでしたが、これをバネにして、次回は上位入賞を狙ってほしいです。

大会2日目、男女準決勝終了後、昨年12月に開催されたJOCカップに出場した岩手県選抜チームの報告があり、その大会で見事優秀選手に選出された中村歩夢選手(矢巾北中3年)に、優秀選手賞が授与されました。チームとしては決勝トーナメントに進出できず悔しい思いをしたようですが、非常にチームの仲も良く、高校進学後も各メンバーの活躍が多いに期待できそうです。

さて、迎えた女子決勝は、今大会安定した強さを見せた矢巾北中が下小路中を寄せ付けず、31-17で勝利し、優勝の栄冠を手に入れました。また、続いて行われた男子決勝では、どこからでも得点が取れるチーム力をいかに発揮した矢巾中が33-21で勝ち、2年ぶり4回目となる優勝を果たしました。春の全国中学生大会につながる良いステップになったと思います。この勢いで上位進出を目指してほしいと思います。

なお、花巻中の女子主将、石亀萌夏選手(花巻クラブジュニアOG)が奨励賞を獲得しました。次回はチームとして優勝できるよう、花巻勢全体に期待したいと思います。



日本ハンドボールリーグ花巻大会開催！琉球コラソンは中村選手が大活躍！トヨタ自動車東日本は1点差で湧永製薬に勝利！

10月に盛岡市の県営体育館でも開幕戦に続き、またまた日本ハンドボールリーグが岩手県で開催されました！お隣宮城県に拠点を置くトヨタ自動車東日本(以下東日本)が、ここ花巻をホームコートとして試合を開催するのに伴い、2月21日土曜日、花巻市総合体育館アネックスにおいて、男子2試合が行われました。いよいよシーズンも終盤に差し掛かり、3月のプレーオフを控えた男子リーグ。その中でも、現在プレーオフ進出の最後の切符をかけて後半戦を戦っている琉球コラソン、東日本、そして湧永製薬の3チームが、まさにその大事な決戦の舞台を花巻に持ってきてくれ



ました！金ヶ崎町に岩手工場がある関係で、今回は多数の応援団がかけつけてのホーム戦となる東日本に加え、先月岩手県の小学生ハンドボールを石垣島にご招待いただいて交流事業をお世話してくださった琉球コラソンの試合もあるということで、応援にも自然に力が入る今節のリーグ戦となりました。

さて、試合に先駆けて、恒例となりました小学生ハンドボールによる前座試合が行われました。今年も山形県東根市で開催される大沼杯と日程が重なってしまったため、小学校1・2年生の部(U-8)と3・4年生の部(U-10)の2試合が、地元・花巻クラブジュニアと矢巾フェニックスの間で組まれました。結果は矢巾フェニックスがいずれも圧勝！それでも、最後まであきらめずに一生懸命ボールを追っていた小学生たちには惜しめない拍手が送られました。会場を訪れていた方からは、非常に楽しい雰囲気、しかも将来性のある子がたくさんいた！とても嬉しい感想をいただきました。

13時から行われた第一試合に登場したのは、岩手県出身の中村彰吾選手(盛岡三高卒)を擁する琉球コラソンと北陸電力の顔合わせ。プレーオフ進出をかけて絶対に負けられないこの試合を序盤リードしたのは琉球コラソン。⑤村山選手のミドルシュートやエース①棚原選手のロングシュートなどで得点を重ねていきます。しかし、北陸電力も応戦し、コラソンのDFの隙をついたポストプレーで食らいつき、点差はなかなか開きません。13-10とコラソンが一步リードした形で前半を終了しました。ハーフタイムには、会場で配布されたプログラムについている番号でのお楽しみ抽選会も行われ、ピリピリ感あふれる試合に和やかな雰囲気を加えてくれました。さて、迎えた後半、コラソンが一気に流れをつかみます。⑬内田 GKのナイスセーブからの速攻などで、後半立ち上がり4連取すると、その後終始リードする形に。途中、ついに中村彰吾選手が出場すると、いきなりの2分間退場でヒヤッとしたものの、その後右サイドのポジションから飛び込んでサイドシュートで得点！3本放ったシュートは全てゴールインとなり、シュート率100%で会場を沸かせました。また、棚原選手は今シーズン100得点目となるステップシュートを決め、コラソンの勝利が確実なものに。最後は、ノータイムで北陸電力に7MTが与えられましたが、これを⑬内田 GKが見事シャットアウトし、7M阻止通算50本という記録を打ち立てました。結果、29-16という危なげない点差で、コラソンが手強い勝利を挙げました。なお、試合終了後、先月の石垣島交流事業でお世話になった小学生を代表して、コラソンに感謝の言葉と記念品の贈呈が行われました。



続く第二試合、伝統の湧永製菓とトヨタ自動車東日本の一戦。会場には、東日本の岩手工場から駆け付けた大応援団に加え、なんと花巻東高校野球部が来場。トヨタ自動車のCMをアレンジした応援ソングで、会場が一気にホームの雰囲気に変わりました。試合に先立ち、岩手県出身の上野承太選手、遠山賢治選手(本試合はこけがのため欠場)に花巻が贈呈されました。さて、こちらもプレーオフへの切符をかけて4位と5位の直接対決となった試合。応援の声に押されて、東日本が先制すると、⑧松本選手の技ありのサイドシュート、⑩玉井選手のミドルシュートなどで得点を重ねていきます。湧永は、②谷村選手のカットイン、⑧小賀野選手のポストプレーなどで応戦します。しかし、東日本が終始リードを保ち、15-10と先行して前半を折り返します。ハーフタイムでは、岩手まるごとおもてなし隊の皆さん、そしてわんこ兄弟たちが登場し、花巻中・花巻北中



ハンドボール部の皆さんと一緒に「わんこダンス」を披露し、来年に控えた希望郷いわて国体のPRに一役買いました。さて、後半は開始早々湧永が3連取し、試合の流れを引き寄せていきます。中盤に差し掛かり、ついに湧永製菓が20-20の同点に追いつくと、ここから一進一退の攻防が展開。互いに一步も譲らず、点差が開かないままついにラスト1分。ここで、東日本の左腕エース④山田選手がカットインシュートを決めゲームセット。28-27の1点差で東日本が貴重な勝利を挙げ、中川監督が思わず男泣きする姿も見られました。

今大会の運営に当たりご尽力いただいた皆様に心から感謝いたします。前座試合を担当してくれた不来方高校のヤングレフェリーの皆さん、そして今回初めて日本リーグの審判としてデビューした大沢勝・谷藤航ペアにも、大きな拍手を送りたいと思います！

L'aile d'Howl (ライル・ドウル)
2015年2月号
2015年2月25日発行
発行:花巻市ハンドボール協会